

観光社会資本の事例

テーマ	アーチの曲線美と雄大な自然に映える温井ダム
【施設の状況写真】	
	
<p>アーチダムの線形の美しさ、高さ及び周辺の自然を満喫する場所となっている。</p>	<p>洪水期前に行われる水位低下放流を見に来られる観光客も多い。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>ダム本体上部から見る龍姫湖の美しさ、ダムの高さを体感する観光客。</p>	<p>ダムサイト右岸側にある夢の杜。たくさんの方に利用され、まつりのメイン会場にもなっている。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>温井ダムは、安芸太田町及び周辺市町村に様々な効果をもたらしています。</p> <p>観光面においては、ダム直下の「思い出広場温井156」、ダムサイト周辺及びダム湖周辺の「夢の杜」等の公園には、家族連れや遠足等でたくさんの方々が利用しており、「町の観光資源」としても位置づけられています。</p> <p>また、毎年洪水期前に行われる水位低下放流、秋に開催される龍姫湖まつり等のイベントや四季折々の景色を楽しむなど年間約40万人の方が温井ダムを訪れています。</p>	

テーマ	アーチの曲線美と雄大な自然に映える温井ダム
【社会資本の基礎データ】 ○名称 温井ダム ○所在地 広島県山県郡安芸太田町大字加計1956-2 ○事業名 温井ダム建設事業 ○事業主体 国土交通省中国地方整備局 ○事業期間 昭和49年度～平成13年度	
【社会資本の役割・効果】 ○利水効果 太田川の水は、広島市、呉市等の中核都市をはじめ、瀬戸内海沿岸の島々の水道用水として利用されています。温井ダムの完成により、安定的な取水が可能となり、およそ約160万人の生活を支える水瓶となっています。平成14年の渇水において、温井ダムがなかったら、取水制限が実施されていたと想定されます。 ○治水効果 太田川流域では、昭和46年、昭和57年等大きな洪水被害が発生してきましたが、温井ダムの完成により洪水の最大流量が低減され、太田川沿川の水害の防止、軽減に寄与するものと考えられます。平成16年9月の台風18号の出水においては、加計市街地付近で約1.6mの水位を低減したと想定され、洪水による被害がありませんでした。 ○発電 ダム下流左岸に温井発電所(株)中国電力)では、温井ダムから放流する水の落差を利用して発電を行っています。(最大出力2,300kw)	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 温井ダム管理所(ダム湖関係) http://www.cgr.mlit.go.jp/nukui/ 加計町商工会(イベント関係) http://akioota.net/	

